



令和2年9月4日発行 中等新報第72号
新潟県立村上中等教育学校長 吉井 裕也

PTA主催進路講演会① ～中等という環境を生かす～



アセンブリーでの進路講演会（中島怜志さんのお話）



中島怜志さん（10期生）

8月29日（土）、PTA研修委員会の主催で、当校OBによる進路講演会が実施されました。現役大学生から、大学生活の面白さ、中等生活の価値などについて実感のこもったお話を伺うことができました。この日参加した生徒は、1年生13人、2年生4人、3年生22人、4年生24人、5年生15人、計78人でした。

来校してくれたOBは、内山歩さん（11期生／東北大学理学部化学科3年）、中島怜志さん（10期生／新潟大学医学部医学科3年）、遠藤辰也さん（11期生／東北大学理学部物理学科3年）、高橋駿太さん（11期生／名古屋大学文学部社会学科3年）の4人。この他に、御栗丈虎さん（10期生／北海道大学理学部物理学科4年）、川村拓さん（11期生／中央大学法学部法律学科3年）の2人がリモートで参加してくれました。

中島怜志さんの話

- 私は小学校時代ミニバスケットをやっていて、そのときの仲間は、皆地元の中学校に進んでバスケット部に入りました。仲間には、一緒に地元の中学校でバスケットをやろうとずいぶん誘われたのですが、一方で、私には将来医学部医学科へ進学したいという夢もあり、村上中等に進学したのは、将来の夢の実現とバスケットで活躍することとの二者択一の結果でした。中等は勉強をがんばる学校。今、自分の選択は正しかったと思っています。
- 大学受験を考えるなら、この村上中等でがんばるという選択は間違っていない。高校受験のない中等では、高校入試のための「新潟県統一模試」などは受験しないので、県内での自分のポジションは見えないと思いますが、中等にいただけで他の中学生よりアドバンテージがあることは事実です。中等の課題をきちんとやっていけば、大学受験に対応する学力は身に付くので、引き続き課題をしっかりやってください。



内山 歩さん（11期生）

（次号へ続く）



新潟県立村上中等教育学校

〒958-0031 村上市学校町6番8号 TEL.0254-52-5101 FAX.0254-53-6773
HPアドレス <http://www.murakami-ss.nein.ed.jp>